

■北条時頼 武将。鎌倉幕府5代執権。反北条勢力一掃し専制確立、後に回国伝説を生む活動で、武家体制仏教も確立。

ほうじょうときより

道元曹洞宗始1227= 生。父は北条時氏、母は安達景盛女(松下禅尼)。

・ ・ ・ ・ ・ 1230= 3歳：父時氏が死去して、祖父泰時に養育されながら、

御成敗式目・1232= 5歳：

仏教への帰依著しい母松下禅尼に育てられ、文武両道に優れるとともに、弱者救済の精神を涵養、

・ ・ ・ ・ ・ 1236= 9歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1237=10歳：元服、

・ ・ ・ ・ ・ 1241=14歳：御家人の内紛の際の対処や宿直の勤勉さを賞されて、一村を給されるなど、将来を囑望される。

鎌倉大仏完成1243=16歳：左近将監従五位下。

・ ・ ・ ・ ・ 1245=18歳：

北条時頼執権1246=19歳：*兄経時の死去に直前に執権となり、直後に一族の名越光時を誅し、将軍藤原頼経を追放(官騒動)、
宝治合戦・1247=20歳：*“撫民法”を発する一方、安達景盛と計って、三浦泰村一族を滅ぼした(宝治合戦)。

引付衆設置・1249=22歳：引付衆を設けて訴訟制度を改革し、

・ ・ ・ ・ ・ 1251=24歳：建長寺の建立を開始。

皇族将軍始・1252=25歳：将軍藤原頼朝を追放して後醍醐天皇の皇子宗尊親王を将軍に迎え、西園寺実氏を太政大臣につけるなど、
執権政治と北条氏の権威の増大を計る。

日蓮宗始・1253=26歳：建長寺の開眼供養。

宋船制限・1254=27歳：

北条時頼出家1256=29歳：*病気になると、次代を担うことを期待する子時宗がまだ幼かったことから、その繋ぎとして長時に執権を譲る形で出家、権力を保持するとともに、自らの自由な活動を確保、出家に際して、追慕する御家人が多く、何度も出家制止令を出すほどで、その後も、恩情と慈悲に基づく、撫民的な善政を続ける一方、仏教活動を深め、様々な仏事を行うとともに、公家権力の背景となる天台宗が根を張っていた東北地方の名刹を、武家支配に対応する臨済宗へ宗旨替えすべく、

二統分化の因1259=32歳：松島寺を焼き払わせて、新たに延福寺を建立。日蓮には、武家勢力に対抗する者として、厳しく対決、

1260=33歳：日蓮が「立正安国論」を呈じると、既存仏教側の反発もあって、彼を伊豆に配流し、

武家仏教確立1262=35歳：再び東北地方を廻る他、政治的安定のために西国も回るなどして、後の回国伝説を生み出すもとなり、
この年、真言律宗僧の忍性を鎌倉に迎えることで、武家体制仏教の確立を内外に示したが、

北条時頼没・1263=36歳：病に罹り、最明寺北亭で没した。